

令和6年度 第2回 三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会会議録							
開催期日	令和7年1月29日(水) 10時00分						
閉会の日時	令和7年1月29日(水) 11時40分						
開催場所	三郷市役所7階 農業委員会議室						
出席状況	委員 10名中 10名 事務局 10名 傍聴 0名						
主な議題	(報告事項)令和6年度事業報告について						
	(報告事項)令和7年度事業計画(案)について						
	(報告事項)「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画」進捗状況について						
	(報告事項)「第3次日本一の読書のまち三郷推進計画」の策定について						
席次番号	委員氏名	摘要	席次番号	委員氏名	摘要		
1	加藤 真理子	⓪・欠	11		出・欠		
2	中川 進	⓪・欠	12		出・欠		
3	武藤 彩花	⓪・欠	13		出・欠		
4	今 友美	⓪・欠	14		出・欠		
5	古賀 智子	⓪・欠	15		出・欠		
6	田口 啓子	⓪・欠	16		出・欠		
7	山上 礼子	⓪・欠	17		出・欠		
8	横井 直美	⓪・欠	18		出・欠		
9	福田 誠治	⓪・欠	19		出・欠		
10	土屋 かおり	⓪・欠	20		出・欠		
事務局出席者名							
教育長	大塚 正樹	生涯学習部 部長	梅澤 十三男	日本一の読書の まち推進課長	園田 久美子	日本一の読書のま ち推進課企画推 進係長	染谷 将隆
日本一の読書のま ち推進課企画推 進係専門員	並木 さくら	市立図書館長	木村 雅也	早稲田図書館長	三國 博子	北部図書館長	染谷 篤仁
北部図書館 専門員	牧原 祥子	生涯学習課長	渡辺 晴美				
会議の概要または特記事項							

審議の概要

会議名	令和6年度第2回三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会
	開会 司会・進行 染谷北部図書館長 1. 会長あいさつ 福田会長 2. 教育長あいさつ 大塚教育長
福田会長	3. 議事（議事進行：福田会長）
事務局	《議題1》令和6年度事業報告について ・各館事業、3館合同事業、企画推進系の事業の説明、図書館の施設別利用状況、電子図書館統計について、視聴覚ライブラリーの現状について (令和6年度図書館事業報告・利用統計 資料1、資料2、資料3、資料5前半参照)
古賀委員	講談社のおはなし隊キャラバンカーが来校し、子どもたちが喜んでいました。屋外ではブルーシートの上にカーペットが敷かれ、気持ちよく、自由にのびのびと読書を楽しんでいた。教員からも好評で、次回開催が待たれるが、次年度以降の実施予定はどうか。
事務局	今回は未定。今回は三郷市に集中訪問いただけることになり、有償で全小学校と、保育所、幼稚園、特別支援学校を回ってもらった。今後も費用が発生するため、予算化が難しい状況である。このような好評との声を多くいただくと実施につながるかもしれないので、貴重なご意見として参考にさせていただく。
横井委員	視聴覚ライブラリーについて。DVDを「親の学習講座」で利用している。高価と聞いているが、内容はとても良いので、多くの人に利用してもらえるような働きかけがあると良い。
事務局	活用について周知を進めてまいりたい。
土屋委員	電子図書館について。利用者の年代層はどのくらいか。また、資料自体が何年かすると入れ替わっていくのか、資料をどのように揃えていっているのか。
事務局	2年または52回の上限回数に到達すると消えてしまう契約の資料と、永続的に利用できる資料がある。内容は児童向けより、大人向けの資料が多いので、大人の利用が多いと思われる。どの年代の利用が多いのかというのは統計では取れないが、有効期限の更新時の状況を見ていると、高齢者よりもう少し若い世代の利用が多いように思う。
土屋委員	図書館に行かなくても資料を利用できるというのは便利だと思うので、利用を増やしていくのは難しいかもしれないが、PRを続けてほしい。
福田会長	近隣の市町に尋ねて、利用率の高い資料を入れてはどうか。電子書籍もリクエストを受付するというのも一案かもしれない。
福田会長	子ども司書の活躍のなかで、新聞の掲載、と事業報告にあったが、何回も載るのか。

事務局	毎月、一人ずつ順番に担当していく。
福田会長	<p>カラー印刷して小冊子にして配布したらどうか。配布先はグループだけでも良いし、親戚にも配れたら良い。自分が認められたという達成感につながる。テストの点以外で褒めてもらうことは今の時代に大事なことである。子どもたちの成果を目に見える形にしてあげてほしい。デジタルで残すといたずらに使われる恐れがあるが、印刷にすると画像がぼやけるので紙で配るのが良いのでは。新聞掲載後のフォローとして、身近な人に褒めてもらうようにしてあげることが長続きのコツだと思う。</p> <p>《議題2》令和7年度事業計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館関係 ・企画推進係関係 ・視聴覚ライブラリー <p>（資料4、資料5後半参照）</p>
中川副会長	ふれあいブックワゴン事業には感謝している。以前は各施設に訪問する回数に制限があったが、制限がなくなった。次の段階として、冊数の制限を拡大してもらえるとありがたい。
横井委員	大人への活動が広がり、子どもから高齢者まで幅広いものとなって良いと思った。読み聞かせの活動をしている仲間から言われてきたことがある。①色々なイベント活動をしているが、学校など一部の関係者にしか伝わっていないように思われる。幅広く市民に伝わるような広報活動をして欲しい。②イベントにお金をかけず、新しい本をもっと図書館に置いて欲しい。③以前は「三郷の民話」の冊子を配布し、普及活動をしていたが、今はネットで見られる状態になったため配付していないが、三郷の民話のことを知らない人が増えるのは淋しいので、新しく市民になった人たちや、子どもたちにも冊子を配布して欲しい。
福田会長	今、小学校ではいくつくらいの言語が使われているのか。
横井委員	彦糸小は10か国以上。アジア、アフリカ系が多い。
福田会長	この5年で英語圏外の人が増えた。AIを活用して対応していると思うが現場は大変である。英語以外の本も揃えてあげたいので、行政で話し合ってほしい。
	《議題3》第2次日本一の読書のまち三郷推進計画進捗状況について（当日配布資料参照）
田口委員	図書館での事業に参加する際、今は事前予約制となっているが、コロナ前は予約なしで参加できた。人数把握のためには良いと思うが、予約が参加のハードルになっている人もいるのではないかと。今後も事前予約制は続ける予定か。
事務局	会場のキャパもあるが、コロナ以降参加者数が増加しており、当日参加のかたが多いと対応できないこともあり、予約制を有効に活用

	<p>福田会長</p> <p>事務局</p>	<p>しているところである。</p> <p>せっかくここまで活動しているので、希望が多くて参加できない人がいるのであれば、臨時に機会を増やすことはできないか。</p> <p>予約をすることで参加日を予定しておいていただき、楽しみにしていただける効果もあるかと思う。早稲田図書館で行ったプラネタリウムでは団体の希望があったため、翌日も臨時に開催した事例があるので、今後も臨機応変に対応していきたい。</p> <p>《議題4》第3次日本一の読書のまち三郷推進計画策定について (資料6、資料7、資料8参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨子案をまとめるための資料 <p>《議題5》その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別整理期間について ・QAボットについて
	<p>中川副会長</p>	<p>閉会（閉会の辞：中川副会長）</p>